

感染症名	感染しやすい期間 (※)	登園のめやす
麻疹 (はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	症状が有る期間 (発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること (乳幼児にあっては、3日経過していること)
新型コロナウイルス感染症	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること
風しん	発しん出現の7日前から7日後くらい	発しんが消失していること
水痘 (水ぼうそう)	発しん出現1～2日前から痂皮 (かさぶた) 形成まで	すべての発しんが痂皮 (かさぶた) 化していること
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること 又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	—	医師により感染のおそれがないと認められていること。 (無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している5歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。)
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)	—	医師により感染の恐れがないと認められていること

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については (—) としている。

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (りんご病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化していること
突発性発しん	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(—)としている。

登園させても大丈夫？
こんなときは、登園を控えましょう

登園を控えたほうが望ましい場合

嘔吐編

- 24時間以内に2回以上の嘔吐がある
- 嘔吐に伴い、いつもより体温が高め
- 食欲がなく、水分もほしがらない
- 機嫌が悪く、元気がない
- 顔色が悪く、ぐったりしている

◎気になる症状が見られるときは、
医療機関を受診しましょう。



登園を控えたほうが望ましい場合

せき編

前日に発熱がなくても

- 夜間、しばしばせきのために起きる
- ゼーゼーしたり（喘鳴）呼吸困難がある
- 呼吸が速い
- 37.5℃以上の熱を伴っている
- 元気がなく、機嫌が悪い
- 食欲がなく、朝食・水分がとれない
- 少し動いただけで、せきがでる

◎気になる症状が見られるときは、
医療機関を受診しましょう。



登園を控えたほうが望ましい場合

下痢編

- 24時間以内に2回以上の水様便がある
- 食事や水分をとると、下痢がある
（1日に4回以上の下痢）
- 下痢に伴い、体温がいつもより高い
- 朝、排尿がない

◎気になる症状が見られるときは、
医療機関を受診しましょう。



登園を控えたほうが望ましい場合

発熱編

* 発熱期間と同日の回復期間が必要です。

- 朝から37.5℃を超える熱とともに
 - ・元気がなく機嫌が悪い
 - ・食欲がなく朝食・水分がとれていない
- 24時間以内に解熱剤を使用している
- 24時間以内に38℃以上の熱がでていた
- 1歳以下の乳児の場合は上記プラス…
- 平熱より1度以上高いとき
（38度以上あるとき）

◎気になる症状が見られるときは、
医療機関を受診しましょう。



登園を控えたほうが望ましい場合

発しん編

- 発熱とともに発しんがあるとき
- 今までになかった発しんがでて、感染症が疑われ、医師より登園を控えるよう指示されたとき
- 内炎のため食事や水分がとれないとき
- とびひ
 - ・顔等で、患部を覆えないとき
 - ・浸出液が多く、他児への感染のおそれがあるとき
 - ・かゆみが強く、手で患部をかいてしまうとき

◎気になる症状が見られるときは、
医療機関を受診しましょう。

